

Tohoku Tiny Drone League 2026 開催要項

2026 年 1 月 1 日

1 趣旨

若年層から一般までドローンに興味関心を持つてもらい、共通のルールのもとで定期的に競技を開催することによりドローン競技の普及と、ドローンの操縦技能・機体製作技術の向上と交流を図る。

2 開催期間

2026 年 1 月～12 月

3 開催場所

2026 年シリーズ開催予定地

岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

4 運営費用

競技当日の受付時に参加費を徴収する。

運営費用は賞状・賞品代、コース資材費、会場費、保険料、通信費、運営や計測の謝金等とし、各レースで使い切ることとする。

5 その他

- ・2026 年は室内での TinyWhoop (Whoop 形状のマイクロドローン) に加え U99 のレースも開催する。
- ・レースごとに成績等によりポイントを付与し、合計ポイントにより年間チャンピオンを決定し、表彰する。ポイントの計算方法については実施規則に記載
- ・レースの開催情報については下記参照のこと



東北ドローンレースコミュニティ

<https://www.facebook.com/groups/947437753072812/>



WTW 秋田

<https://x.com/WTWAKITA>



NPO 法人ソーシャレック HP

<https://npo-socialeq.com/drone/>



Tohoku Tiny Drone League 2026 実施規則

2026 年 1 月 1 日

1 参加資格

レース開催時に年齢が 9 歳以上であり、アマチュア無線 4 級以上の国家資格を所持していること。

レースに使用する画像伝送無線機器を運用するためのアマチュア無線局を開局、または社団局に所属していること。

2 大会運営

開催県の運営チームが大会進行とジャッジを行う。運営チームと選手は兼ねることができる。

選手はフライト以外の時間は競技補助員として運営を補助する。

3 競技規則

(1) 参加者は最大 2 機まで機体検査の登録をすることができる。

競技に使用する機体は競技者が所有するものとし、他の競技者との共用は認めない。

(2) フライト方法

① ドローンは最大 4 機同時に飛行を開始しレースを行う。大会は練習ステージ、予選ステージと決勝ステージに分かれ、予選ステージの結果のもと決勝ステージを開催する。

② スタート後のコース内への立ち入りは認めない。

③ 機体のトラブルやバッテリーカッタ、機体が反転し復旧が困難な場合など、飛行の継続が困難となった場合はその時点までの飛行距離を記録とする。

(3) 計測方法

TinyViewPlus それに準じた機体から発信される映像信号を利用した方法で計測を行う。

(4) コースの公開

レースレイアウト案は開催 14 日前までに SNS や「NPO 法人ソーシャレック」HP (<https://npo-socialeq.com/>) で公開する。

4 ポイント計算方法

(1) レース後、順位ポイントと追加ポイントを付与する。

①順位ポイント

1位 (獲得ポイント) = (参加者人数) × 50% (小数点以下は繰り上げ)

2位 (獲得ポイント) = (参加者人数) × 50% (小数点以下は繰り上げ) - 1

3位 (獲得ポイント) = (参加者人数) × 50% (小数点以下は繰り上げ) - 2

4位 (獲得ポイント) = (参加者人数) × 50% (小数点以下は繰り上げ) - 3

:

:

(獲得ポイント) = 1p となった順位以降には選手には 1p が付与される。

例 1 参加人数 12 名の場合

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	12位
6p	5p	4p	3p	2p	1p	1p	1p	1p

例 2 参加人数 15 名の場合

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	15位
8p	7p	6p	5p	4p	3p	2p	1p	1p

②追加ポイント

- ・他県参加ポイント 1P 【居住地以外の県で開催されるレースに参加】
- ・ナイスミドルポイント 1P 【50 歳以上の選手】

(2) ポイントを合計して、年間ランキングと年間チャンピオンを決定する。

各レースの終了後、累積のポイントを NPO 法人ソーシャレック HP に公開する。

5 レースに使用する機体レギュレーションは次のとおりとする。

TinyWhoop

【機体】

- ・フレームサイズは 65 サイズ、プロペラの最大直径は 35mm とする
- ・使用するモーターに制限は設けない

【バッテリー】

- ・機体に搭載するバッテリーはリチウムポリマーバッテリー1 本とする
- ・コネクターの形状、競技に使用するバッテリーの本数、容量は制限しない

【VTX】

- ・VTX はアナログタイプで最大出力は 25mW とする
- ・使用する周波数は 5705MHz、5740MHz、5800MHz の 3 波、
または総務省告示（令和 7 年 7 月 17 日 総務省告示第 259 号）に対応した 4 波とする
- ・デジタル VTX の使用は認めない

【OSD】

- ・起動時に選手名の QR コードが表示されること

設定方法について <https://yourlaps.app/qr>

【その他】

- ・機体には LED の装着を必須とする

WHOOP 部全周への取り付けを推奨するが、前後方向から視認可能な 20mm 以上の LED
(PikaTail^{※1}) でも可とする

2025 シリーズ以降、3 位以上の入賞者は全周取付を義務付ける

※1 下図および動画参照

<https://youtu.be/SAL-dREiVLA?si=FuimMSHzJhfQ1ml>



U99 ドローンレース

【機体】

- ・機体重量 60g 以上とする(カメラ・VTX 等の画像伝送装置を含む)
- ・バッテリーを含む機体総重量 は 100g 未満とする

【バッテリー】

- ・バッテリー重量 40g 未満とする
- ・バッテリーの改造、軽量化は認めない(練習フライトは除く)
- ・競技に使用できるバッテリーの本数は指定しない

【VTX】

- ・VTX はアナログタイプで最大出力は 25mW とする
- ・使用する周波数は 5705MHz、5740MHz、5800MHz の 3 波、または
総務省告示(令和 7 年 7 月 17 日 総務省告示第 259 号)に対応した 4 波とする
- ・デジタル VTX の使用を認める

【OSD】

- ・起動時に選手名の QR コードが表示されること
設定方法について <https://yourlaps.app/qr>

【その他】

- ・使用できるプロペラの最大直径は 3 インチとする
- ・受付時の車検にて重量の確認作業を行う
- ・機体が軽すぎる場合には各自で調整を行う
- ・LED の搭載は義務付けない
- ・開催県の運営チームは初めて屋外のドローンレースにチャレンジするプレーヤーを
対象とした「フリークラス」を設定することができる

◆フリークラス設定の例◆

「機体を自作は難しい・・・」「コースを完走できるか心配」

「75 サイズや 85 サイズの WHOOP 機はあるけど、外のレースは未経験」

という方でも大丈夫！

- ・バッテリーを含む機体総重量 が 100g 未満
- ・使用するプロペラの最大直径 3 インチ未満

の機体であれば参加可能です。(完成機、Whoop 機でもエントリーOK)

U99 ドローンレースとは別のヒート・時間でフライトが可能